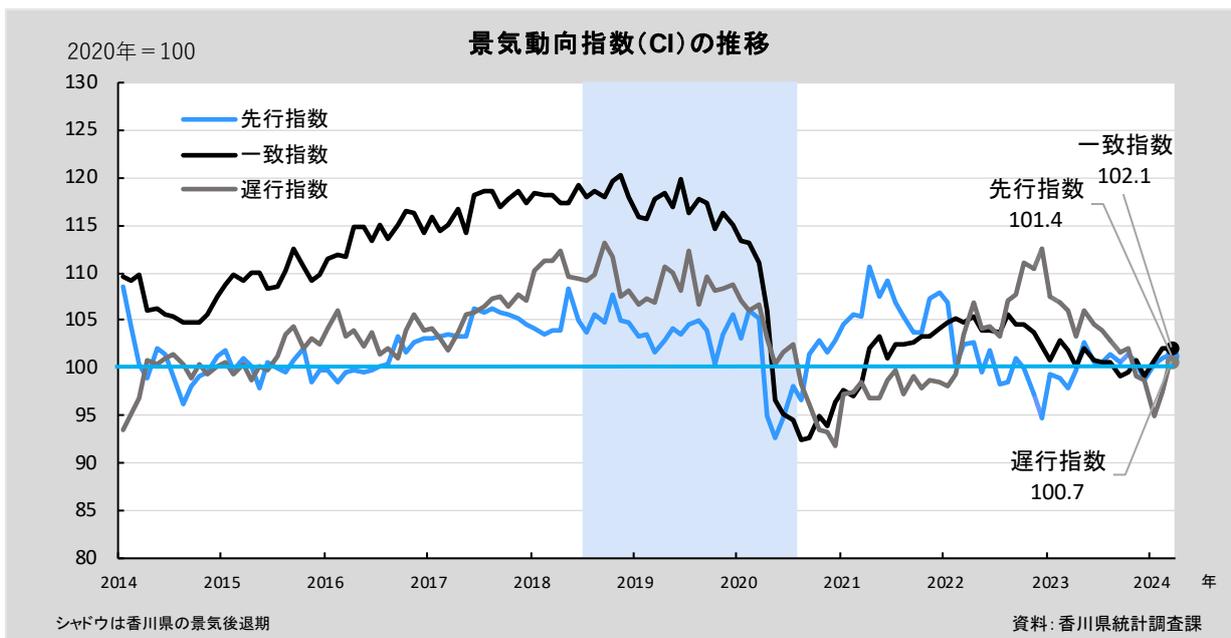


概況	景気は、持ち直しの動きが一服している。
個人消費	持ち直しの動きが一服している。
住宅投資	低調に推移している。
公共投資	持ち直しの動きがみられる。
生産活動	持ち直しの動きがみられる。
雇用情勢	持ち直しの動きに弱さがみられる。
貿易	輸出、輸入ともに減少している。
観光	持ち直しの動きが続いている。

景気動向指数(かがわCI) 一致指数 2カ月連続上昇



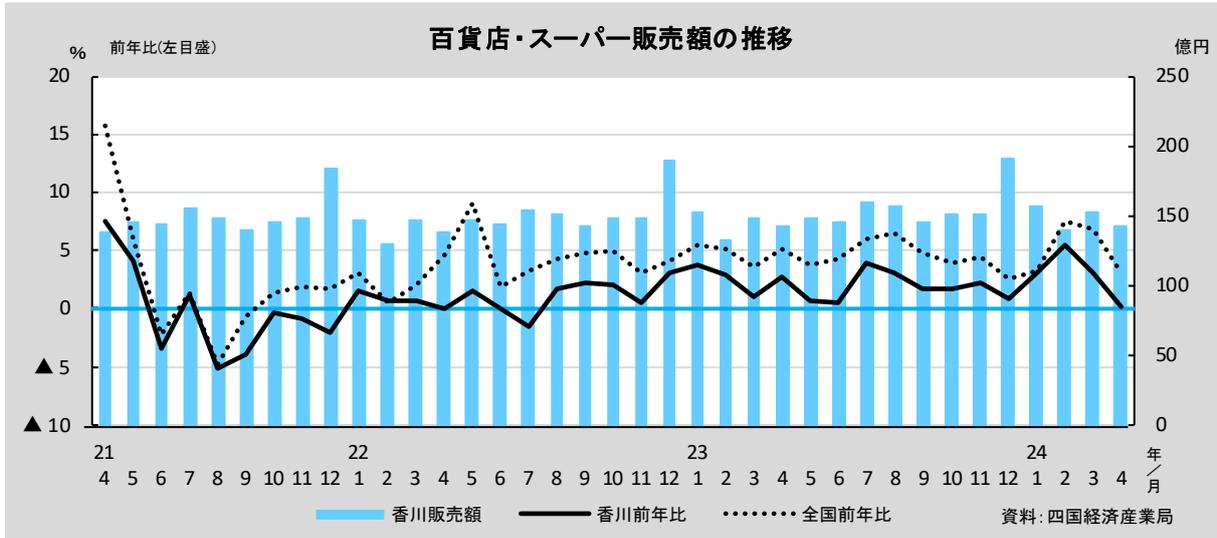
景気の現状をみると、3月のCI一致指数は102.1（前月比0.0ポイント）で、前月と同水準となった。CI先行指数は101.4（同+0.4ポイント）と3カ月連続で上昇。CI遅行指数は100.7（同+3.3ポイント）と2カ月連続で上昇。

景気の現状を示す一致系列の個別指標では、雇用保険受給者実人員等が上昇に寄与したが、建築着工床面積等が下降に寄与し、前月と同水準となった。

	先行系列	寄与度	一致系列	寄与度	遅行系列	寄与度
採用 景気 指標	1 新規求人数	▲ 0.84	1 雇用保険受給者実人員	0.67	1 常用雇用指数	0.28
	2 乗用車新車登録台数	0.40	2 有効求人倍率	▲ 0.00	2 有効求職者数	1.54
	3 鉱工業在庫率指数	▲ 0.91	3 所定外労働時間指数	0.45	3 消費者物価指数	▲ 0.64
	4 生産財生産指数	1.34	4 鉱工業生産指数	▲ 0.03	4 家計消費支出	1.03
	5 新設住宅着工戸数	▲ 0.40	5 鉱工業出荷指数	▲ 0.06	5 鉱工業在庫指数	0.53
	6 金融機関貸出残高	0.60	6 建築着工床面積	▲ 0.62	6 法人事業税調定額	0.29
	7 消費者態度指数	0.40	7 百貨店・スーパー既存店販売額	▲ 0.41	7 第3次産業活動指数	0.50

●百貨店・スーパー販売額

21 カ月連続増加 ↑

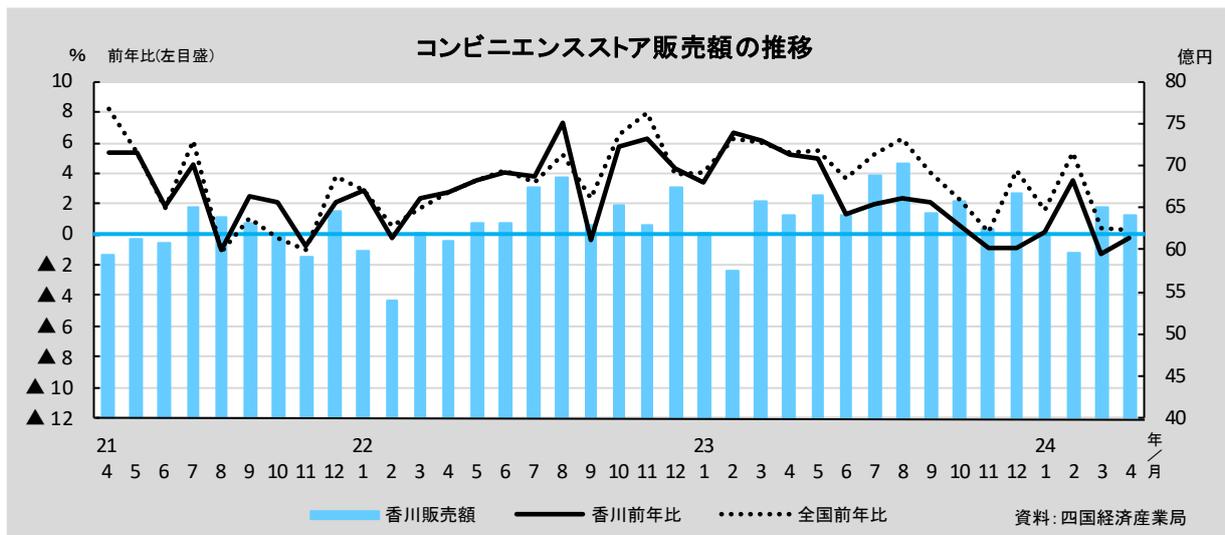


2024/4月	衣料品	身の回り品	飲食料品	家具	家庭用 電気機械器具	家庭用品	その他の商品	食堂・喫茶	合計
販売額(万円)	103,513	62,956	1,046,584	1,392	3,583	66,012	143,604	458	1,428,102
前年同月比(%)	▲ 1.7	▲ 4.0	0.3	▲ 16.7	▲ 16.2	4.9	0.5	4.6	0.1

4月の百貨店・スーパー全店(83店)の販売額は142.8億円で、前年同月比+0.1%と21カ月連続で増加したが、増加幅はこの21カ月間で最少となった。「飲食料品」は堅調に推移し同+0.3%、「家庭用品」も新生活関連商品に動きがみられ同+4.9%と好調だった。「身の回り品」は値上げの影響で動きが鈍く同▲4.0%となった。

●コンビニエンスストア販売額

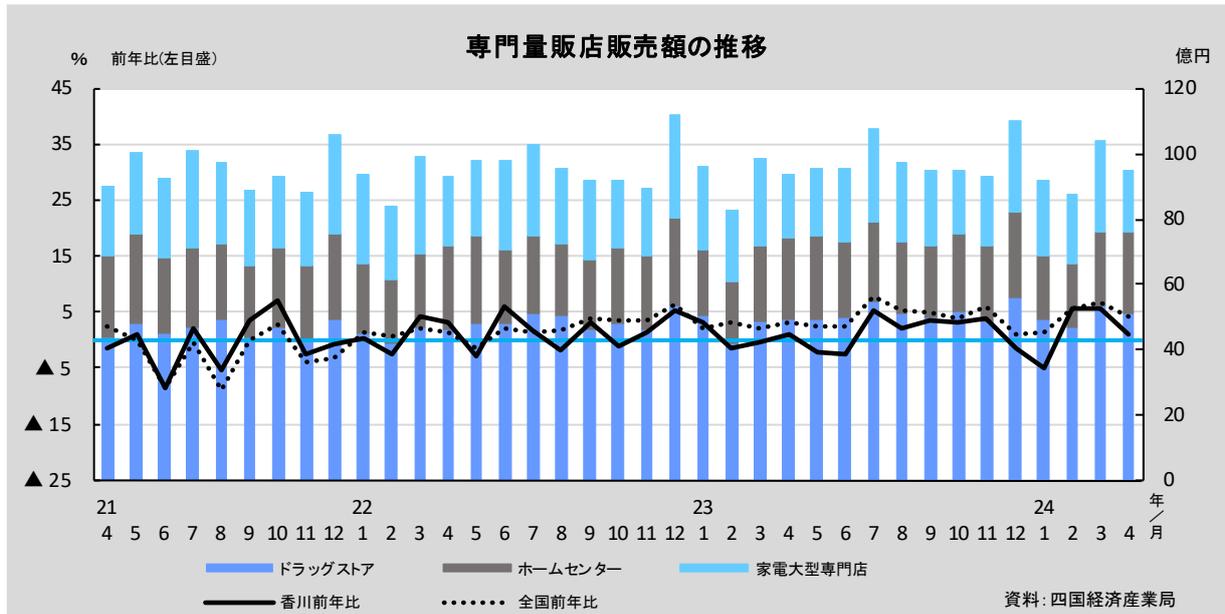
2 カ月連続減少 ↓



4月のコンビニエンスストア全店(402店)の販売額は64.0億円で、前年同月比▲0.3%となり、2カ月連続で減少した。

●専門量販店販売額

3 カ月連続増加

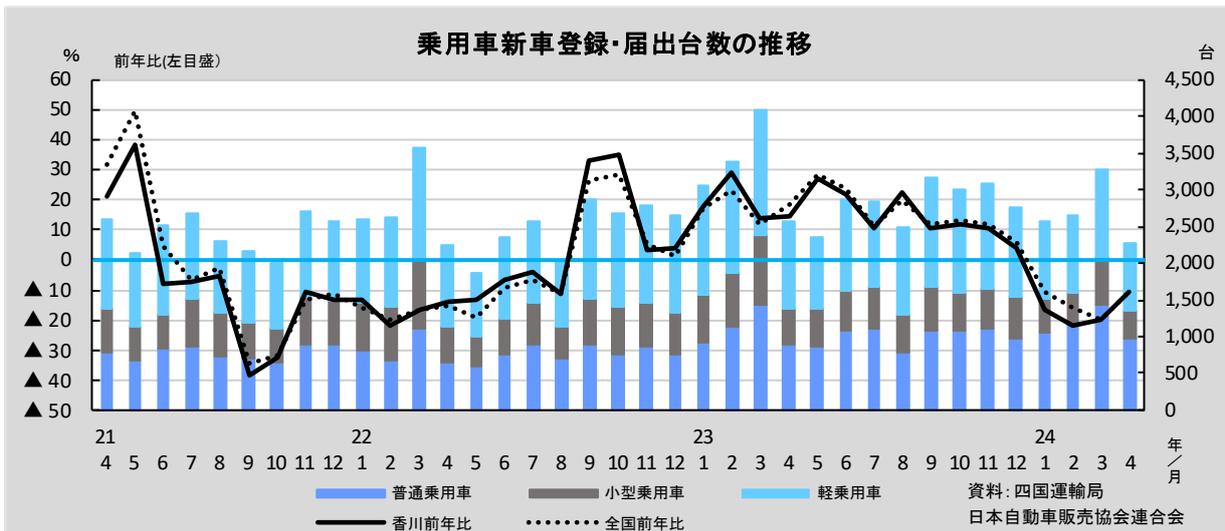


4月の専門量販店全店（221店）の販売額95.1億円で、前年同月比+1.2%と3カ月連続で増加した。

業態別にみると、**家電大型専門店**（28店）の販売額は、18.9億円で前年同月比▲3.0%となった。**ドラッグストア**（146店）の販売額は、51.0億円で同+3.7%となった。**ホームセンター**（47店）の販売額は、25.1億円で同▲0.4%となった。

●乗用車新車販売台数

4 カ月連続減少



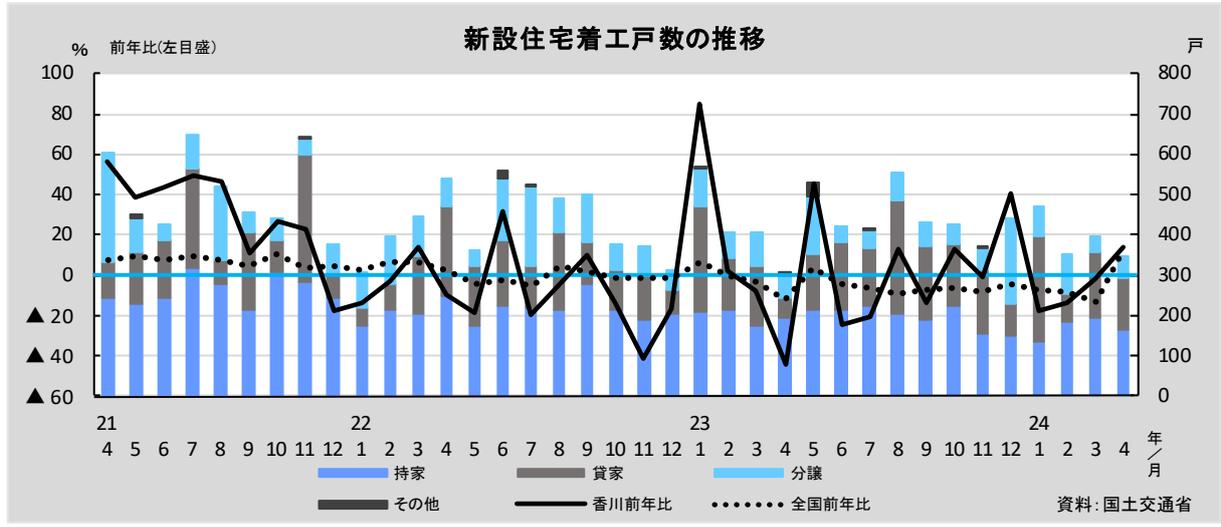
4月の乗用車（普通・小型・軽）新車販売台数は2,286台で、前年同月比▲10.8%と4カ月連続で減少した。認証試験不正問題は、出荷の順次再開によって影響は緩和され、マイナス幅は縮小した。

車種別にみると、普通乗用車は前年同月比+7.1%、小型乗用車は同▲16.3%、軽乗用車は同▲22.1%となった。

住宅投資 低調に推移している

●新設住宅着工

4カ月ぶり増加 ↑

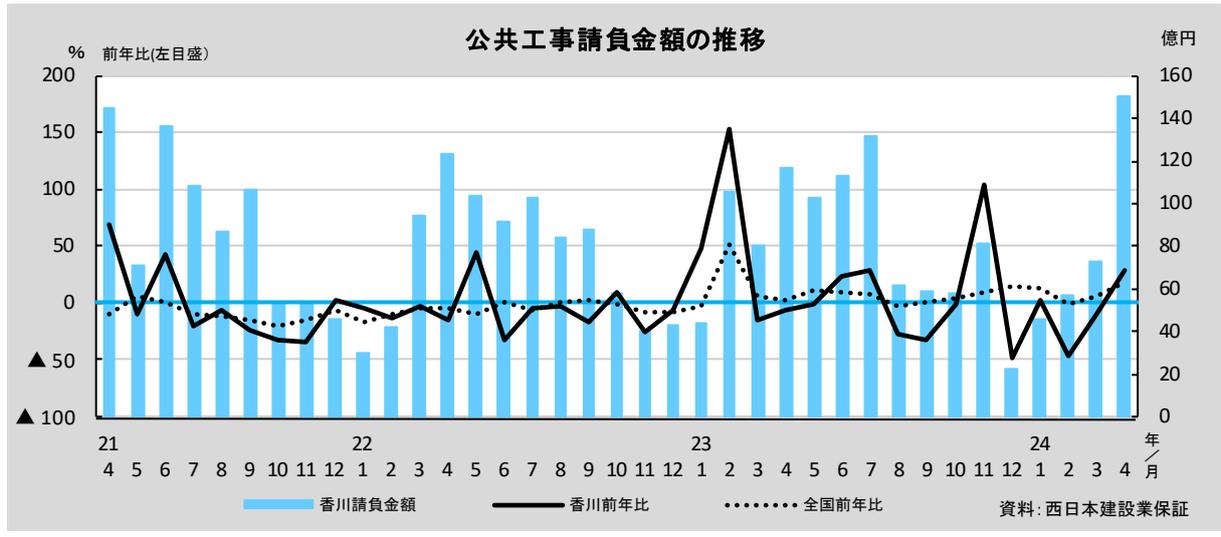


4月の新設住宅着工戸数は345戸で、前年同月比+13.9%と4カ月ぶりに増加した。利用関係別にみると、**持家**で前年同月比▲14.9%、**貸家**で同+150.0%、**分譲住宅**で同▲3.6%となった。

公共投資 持ち直しの動きがみられる

●公共工事請負金額

3カ月ぶり増加 ↑



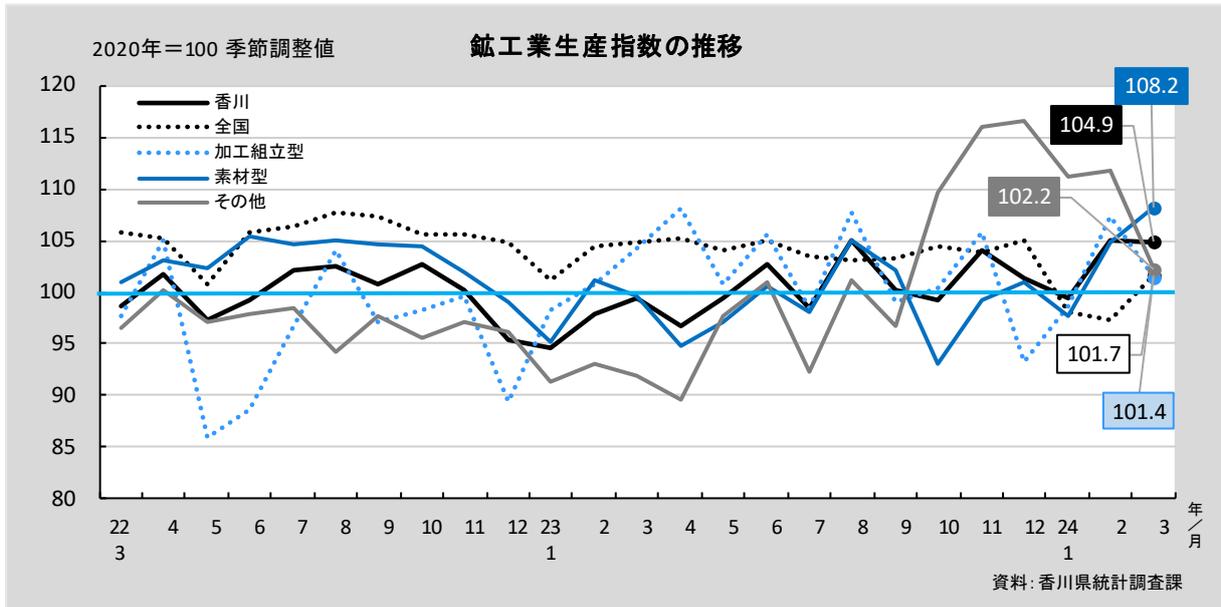
4月の公共工事請負金額は150.5億円で、前年同月比+29.1%と3カ月ぶりに増加した。発注者別にみると、**国・独立行政法人等**で前年同月比+20.4%、**県**で同▲26.9%、**市町**で同+92.5%となった。

生産活動

持ち直しの動きがみられる

● 鉱工業生産指数

2カ月ぶり低下 ↓



3月の鉱工業生産指数（季節調整済指数）は104.9（前月105.1）となり、2カ月ぶりに低下した。

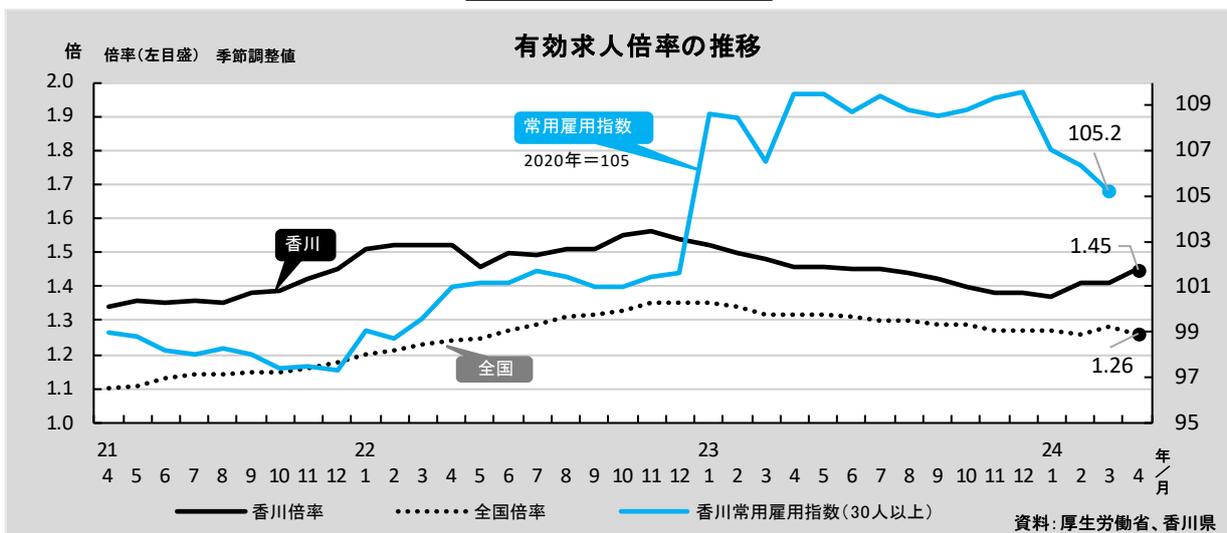
業種別では加工組立型の電気機械工業（開閉制御装置など）は前月比▲17.0%、その他業種の食料品工業（冷凍調理食品など）は▲5.4%と低下した。一方、素材型の化学・石油石炭製品工業（医薬品など）は+21.4%と上昇した。

雇用情勢

持ち直しの動きに弱さがみられる

● 有効求人倍率

2カ月ぶり増加 ↑



4月の有効求人倍率（季節調整値）は、1.45倍（全国9位）で前月より0.04ポイント上昇した。

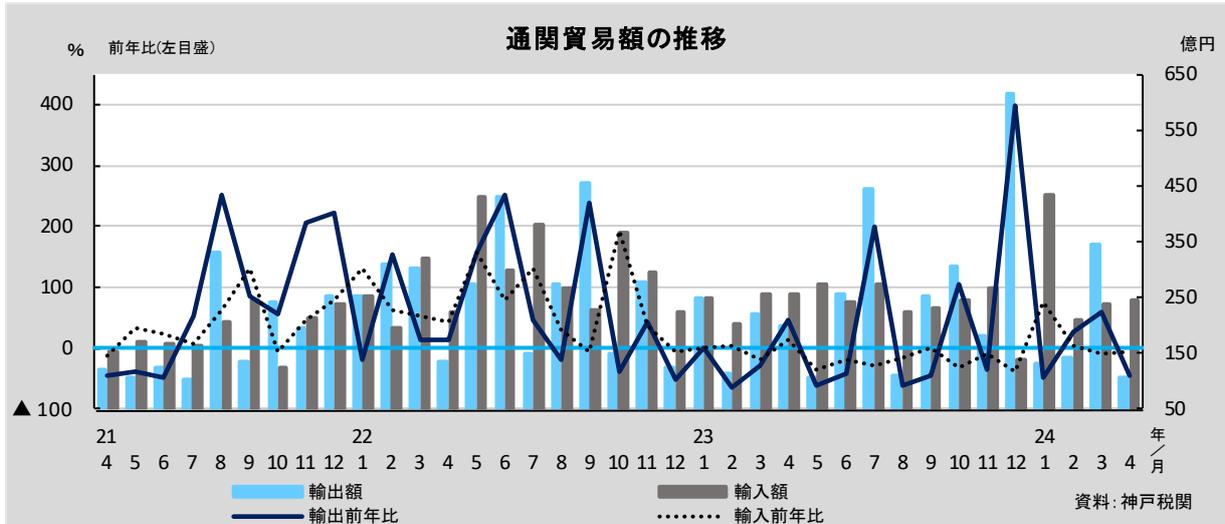
新規求人（原数値：前年同月比）は、建設業、サービス業（他に分類されないもの）、生活関連サービス業・娯楽業等で増加となり、全体で+6.7%と2カ月ぶりに増加した。

3月の常用雇用指数（事業所規模30人以上）は、105.2となり、前年同月比は3カ月連続で減少した。

職業別常用有効求人倍率	倍
専門・技術的職業	1.90
事務的職業	0.55
販売の職業	2.52
サービスの職業	2.97
生産工程の職業	2.24
輸送・機械運転の職業	2.05
建設・採掘の職業	6.16
運搬・清掃・包装等の職業	1.09

貿易

輸出、輸入ともに減少している



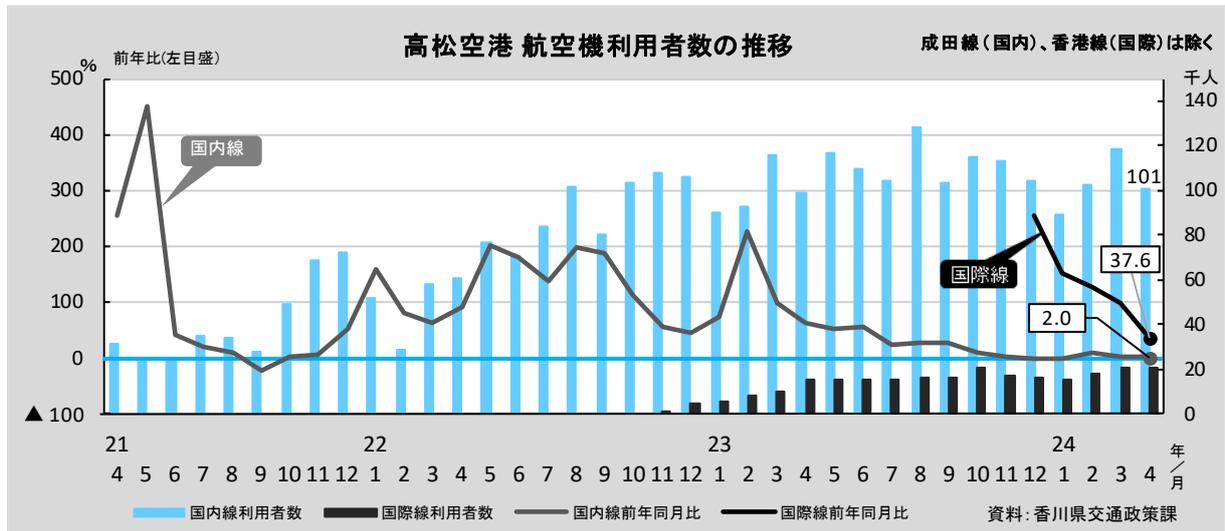
4月の輸出額は前年同月比▲46.7%の105.7億円、輸入額は同▲5.0%の243.6億円となり、差し引き137.9億円の入超となっている。

輸出は、石油製品輸出額が前年同月比▲99.8%の2千万円となった。輸入は、石炭輸入額が前年同月比▲17.1%の115億円となった。

交通

国内線は3カ月連続増加、国際線は6カ月連続増加

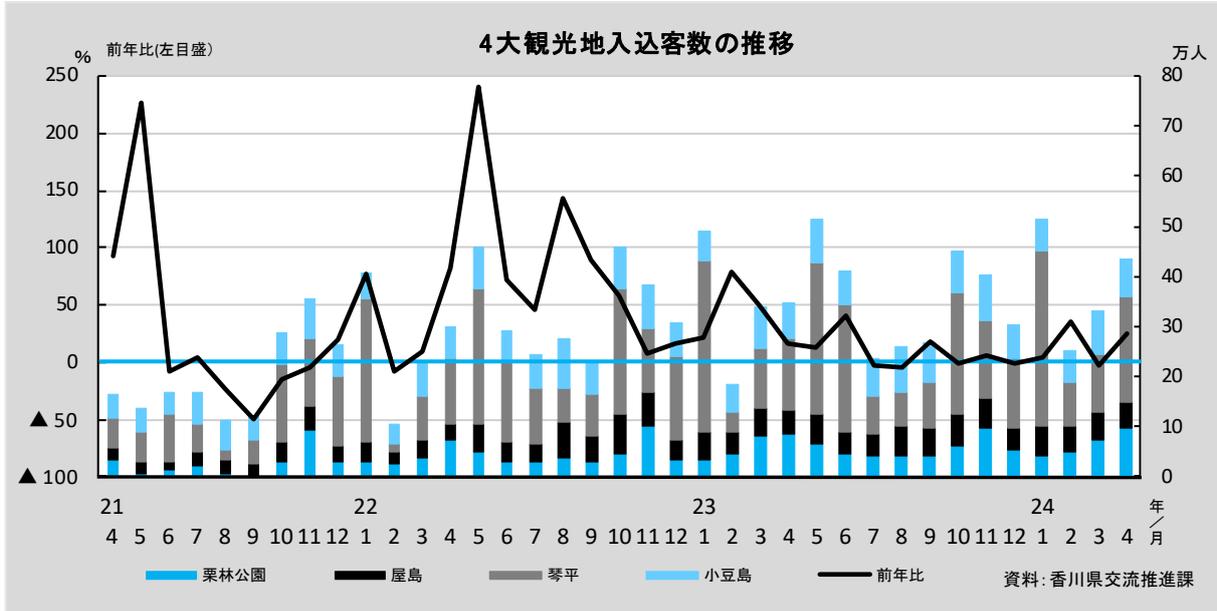
●高松空港旅客輸送実績



4月の航空機利用者数は、国内線(羽田・那覇線)が100,704人(前年同月比+2.0%)となり、3カ月連続で増加した。羽田線は87,071人(同+1.4%)、那覇線は13,633人(同+5.7%)となった。

国際線は、ソウル線10,644人、上海線4,098人、台北線6,116人で合計20,858人(前年同月比+37.6%)と前年同月比では6カ月連続で増加している。

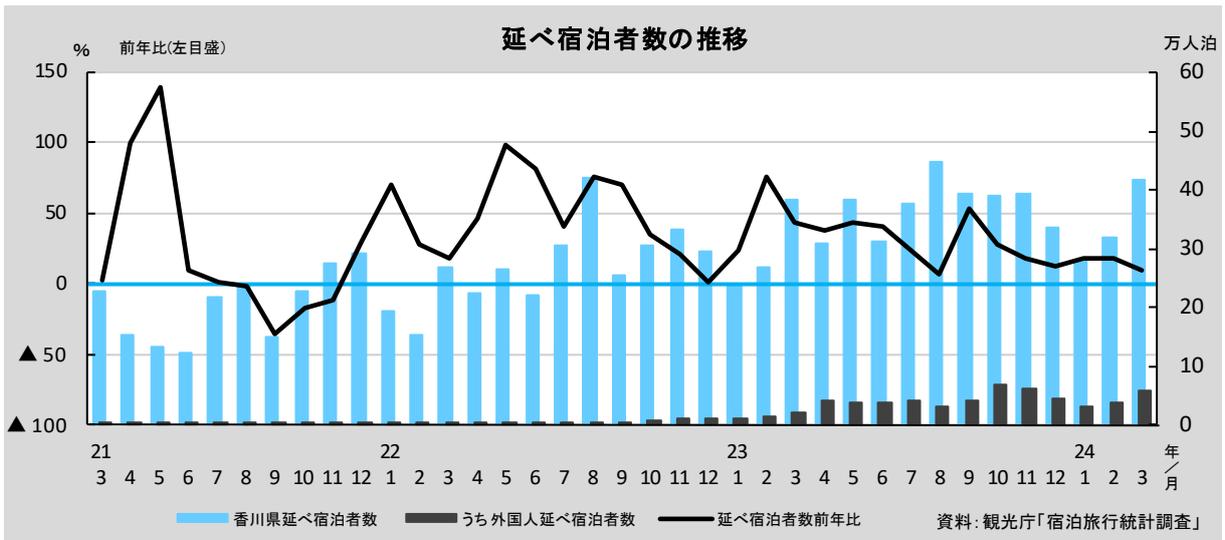
●主要観光地入込客数



観光地入込客数		栗林公園		屋島		琴平		小豆島		合計	
4月(人)	前年同月比	97,733	15.3%	51,937	7.3%	208,000	44.4%	77,323	10.6%	434,993	25.3%
1~4月累計(人)		261,332	6.7%	220,784	8.9%	759,000	17.7%	290,496	7.8%	1,531,612	12.4%

4月の主要観光地の入込客数は、前年同月比+25.3%と2カ月ぶりに増加した。栗林公園は前年同月比+15.3%、屋島は同+7.3%、琴平は同+44.4%、小豆島は同+10.6%と全て増加した。1~4月の累計では前年同期比+12.4%となった。

●延べ宿泊者数



3月の延べ宿泊者数は418,670人で、前年同月比+8.8%と28カ月連続で増加した。うち、外国人延べ宿泊者数57,950人となり、前年同月比+190.2%と20カ月連続で増加した。